

( 電子メール施行 )

農技 第1024号

平成27年4月13日

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報 第1号を下記のとおり発表します。

タマネギほ場で、細菌性病害の多発生を確認しています。ほ場での発生状況を観察し、早期に防除するようご指導願います。

## 平成27年度 病害虫発生予察注意報 第1号

### タマネギ細菌性病害（腐敗病）の防除対策について

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 対象作物     | タマネギ           |
| 2 病害虫名     | タマネギ細菌性病害（腐敗病） |
| 3 発生地域     | 淡路地域           |
| 4 発生程度（時期） | 多い             |

#### 5 発生状況について

- (1) 淡路地域全域で、タマネギ細菌性病害の発生が多く確認されている。
- (2) 3月中旬の巡回調査において、発生ほ場率33.3%（平年値14.2%）と高いが、発病株率0.4%（平年値1.0%）と平年並みの発生で、今後の気象条件によっては、発生が助長されると予想していた。
- (3) 4月9日、南あわじ市野菜病害虫防除推進会議と連携して実施した巡回調査では、発生ほ場率56.2%（平年値13.7%）、発病株率0.56%（平年値0.09%）と平年を大きく上回っており、過去10年間で最も多い発生となっている。
- (4) ほ場内に罹病株（図1、2を参照）が認められた場合、今後の気象状況（気温・降雨・強風等）によって、多発生につながることを懸念される。

#### 6 発生予想について

発生ほ場率及び発病株率が平年を大きく上回っていることや、向こう1ヶ月予報でも降水量が多いと予想されていることから、特に早生品種で被害が大きくなるおそれがある。

#### 7 本病の特徴について

原細菌は、早春ごろから定期的に通過する低気圧に伴う強風雨によって飛散してまん延するため、初発病株を中心に隣接株へと広がって被害が集団的に現われることが多い。

#### 8 防除対策について

- (1) 伝染源となる腐敗株を早期に抜取り、ほ場外で処分すること。
- (2) 排水不良は発病を助長するので、ほ場排水対策を徹底すること。
- (3) 収穫は晴天時に行なうとともに鱗茎は十分に乾燥させてから収穫すること。また、早期収穫は貯蔵腐敗を助長するため、適期収穫を行うこと。
- (4) 発生ほ場では、早急に薬剤防除を行うこと。薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考に選定し、農薬使用基準を守ること。

兵庫農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)



図1 腐敗病 葉身に暗緑色の水浸状病斑を形成する。



図2 腐敗病 葉身に水浸状病斑が見られるとともに病勢が進展すると軟化腐敗する

\* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載  
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222